

6.2 2次不等式の証明

変数 x に関する不等式が次の何れかの形に整理できるとき、その不等式を x に関する 2 次不等式という：

$$ax^2 + bx + c < 0, \quad ax^2 + bx + c \leq 0, \quad ax^2 + bx + c > 0, \quad ax^2 + bx + c \geq 0;$$

ここで定数 a, b, c は実数を表し $a \neq 0$. 2 次不等式の証明とは目標の 2 次不等式を導くことである.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $x^2 - 6x + 11 > 0$.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $x^2 - 6x + 11 > 0$. この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

[例] 次のことを示す：任意の実数 x について $x^2 - 6x + 11 > 0$. この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

任意の実数 x について, 定理 2.5.10 により $(x - 3)^2 \geq 0$,

[定理 2.5.10] 任意の実数 a について $a^2 \geq 0$.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $x^2 - 6x + 11 > 0$. この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

任意の実数 x について、定理 2.5.10 により $(x - 3)^2 \geq 0$, 定理 2.5.7 により

$$(x - 3)^2 + 2 \geq 2 ,$$

[定理 2.5.7] 任意の実数 a, b, c について、 $a \geq b$ ならば $a + c \geq b + c$.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $x^2 - 6x + 11 > 0$. この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

任意の実数 x について、定理 2.5.10 により $(x - 3)^2 \geq 0$, 定理 2.5.7 により

$$(x - 3)^2 + 2 \geq 2 ,$$

$2 > 0$ なので、定理 6.1.1 により

$$(x - 3)^2 + 2 > 0 ,$$

[定理 6.1.1] 任意の実数 a, b, c について、 $a \geq b$ かつ $b > c$ ならば、 $a > c$.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $x^2 - 6x + 11 > 0$. この不等式を導くために左辺の 2 次式を平方完成する.

$$x^2 - 6x + 11 = (x^2 - 2 \cdot 3x + 9) - 9 + 11 = (x - 3)^2 + 2 .$$

任意の実数 x について、定理 2.5.10 により $(x - 3)^2 \geq 0$, 定理 2.5.7 により

$$(x - 3)^2 + 2 \geq 2 ,$$

$2 > 0$ なので、定理 6.1.1 により

$$(x - 3)^2 + 2 > 0 ,$$

$(x - 3)^2 + 2 = x^2 - 6x + 11$ なので

$$x^2 - 6x + 11 > 0 .$$

終

実数 a と b について、 $a - b \geq 0$ ならば、法則 2.5.3 により
 $a - b + b \geq 0 + b$ つまり $a \geq b$.

[法則 2.5.3] 任意の実数 a, b, c について、 $a > b$ ならば $a + c > b + c$.

実数 a と b について, $a - b \geq 0$ ならば, 法則 2.5.3 により $a - b + b \geq 0 + b$ つまり $a \geq b$. 同様に, $a - b > 0$ ならば $a > b$.

実数 a と b について、 $a - b \geq 0$ ならば、法則 2.5.3 により
 $a - b + b \geq 0 + b$ つまり $a \geq b$. 同様に、 $a - b > 0$ ならば $a > b$. このよう
に、任意の実数 a と b について次のようになる：

$a - b \geq 0$ ならば、 $a \geq b$, $b \leq a$;

$a - b > 0$ ならば、 $a > b$, $b < a$.

実数 a と b について、 $a-b \geq 0$ ならば、法則 2.5.3 により $a-b+b \geq 0+b$ つまり $a \geq b$. 同様に、 $a-b > 0$ ならば $a > b$. このように、任意の実数 a と b について次のようになる：

$$a-b \geq 0 \text{ ならば, } a \geq b, b \leq a ;$$

$$a-b > 0 \text{ ならば, } a > b, b < a .$$

このことより次のことが分かる：

不等式 $A \geq B$, $B \leq A$ を導くためには不等式 $A-B \geq 0$ を導けばよい；

不等式 $A > B$, $B < A$ を導くためには不等式 $A-B > 0$ を導けばよい.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $2x^2 + 14 - (12x - 5)$ を平方完成する.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $2x^2 + 14 - (12x - 5)$ を平方完成する.

$$2x^2 + 14 - (12x - 5) = 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19$$

この式から始めること.

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $2x^2 + 14 - (12x - 5)$ を平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $2x^2 + 14 - (12x - 5)$ を平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

任意の実数 x について, $(x - 3)^2 \geq 0$ なので $2(x - 3)^2 \geq 0$, よって $2(x - 3)^2 + 1 \geq 1$;

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $2x^2 + 14 - (12x - 5)$ を平方完成する.

$$\begin{aligned} 2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

任意の実数 x について, $(x - 3)^2 \geq 0$ なので $2(x - 3)^2 \geq 0$, よって $2(x - 3)^2 + 1 \geq 1$; 更に $1 > 0$ なので

$$2(x - 3)^2 + 1 > 0 ,$$

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $2x^2 + 14 - (12x - 5)$ を平方完成する.

$$\begin{aligned}2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 .\end{aligned}$$

任意の実数 x について, $(x - 3)^2 \geq 0$ なので $2(x - 3)^2 \geq 0$, よって $2(x - 3)^2 + 1 \geq 1$; 更に $1 > 0$ なので

$$2(x - 3)^2 + 1 > 0 ,$$

$2(x - 3)^2 + 1 = 2x^2 + 14 - (12x - 5)$ なので,

$$2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0 ,$$

$$2x^2 + 14 > 12x - 5 .$$

例 次のことを示す：任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$. 不等式 $2x^2 + 14 > 12x - 5$ を導くために不等式 $2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $2x^2 + 14 - (12x - 5)$ を平方完成する.

$$\begin{aligned}2x^2 + 14 - (12x - 5) &= 2x^2 - 12x + 19 = 2(x^2 - 6x) + 19 \\ &= 2(x^2 - 6x + 3^2 - 9) + 19 = 2(x - 3)^2 - 18 + 19 \\ &= 2(x - 3)^2 + 1 .\end{aligned}$$

任意の実数 x について, $(x - 3)^2 \geq 0$ なので $2(x - 3)^2 \geq 0$, よって $2(x - 3)^2 + 1 \geq 1$; 更に $1 > 0$ なので

$$2(x - 3)^2 + 1 > 0 ,$$

$2(x - 3)^2 + 1 = 2x^2 + 14 - (12x - 5)$ なので,

$$2x^2 + 14 - (12x - 5) > 0 ,$$

$$2x^2 + 14 > 12x - 5 .$$

故に, 任意の実数 x について $2x^2 + 14 > 12x - 5$.

終

問6.2.1 次のことを示せ：任意の実数 x について $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$.

$$5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) =$$

$$= \left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{1}{3} .$$

任意の実数 x について, $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 \geq 0$, $\left(\frac{1}{3}\right)^2 \geq 0$ なので,

$$\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{1}{3} \geq \frac{1}{3} > 0 ,$$

よって $5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) > 0$ なので, $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$.

問6.2.1 次のことを示せ：任意の実数 x について $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$.

$$\begin{aligned}5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) &= 3x^2 - 8x + 7 = 3\left\{x^2 - \frac{8}{3}x + \left(\frac{4}{3}\right)^2\right\} - \frac{16}{3} + 7 \\ &= 3\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{5}{3} .\end{aligned}$$

任意の実数 x について, $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 \geq 0$, $3\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 \geq 0$ なので,

$$3\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \frac{5}{3} \geq \frac{5}{3} > 0 ,$$

よって $5x^2 - 8x + 2 - (2x^2 - 5) > 0$ なので, $5x^2 - 8x + 2 > 2x^2 - 5$.

終

2次式の平方完成によって次の定理が導かれる.

[定理 6.2] 定数 a, b, c は実数で $a \neq 0$ とする.

$a > 0$ かつ $b^2 - 4ac < 0$ ならば, 任意の実数 x について $ax^2 + bx + c > 0$.

$a < 0$ かつ $b^2 - 4ac < 0$ ならば, 任意の実数 x について $ax^2 + bx + c < 0$.

証明 “ $a > 0$ かつ $b^2 - 4ac < 0$ ならば, 任意の実数 x について $ax^2 + bx + c > 0$ ” であることを証明する.

$a > 0$ かつ $b^2 - 4ac < 0$ と仮定する. x の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ を平方完成する:

$$\begin{aligned} ax^2 + bx + c &= a\left(x^2 + \frac{b}{a}x\right) + c = a\left\{x^2 + 2\frac{b}{2a}x + \left(\frac{b}{2a}\right)^2 - \left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\} + c \\ &= a\left\{\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a^2}\right\} + c = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2}{4a} + c \\ &= a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a}. \end{aligned}$$

$$ax^2 + bx + c = a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a}.$$

x を任意の実数とする. $\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 \geq 0$ なので, 仮定 $a > 0$ より

$$a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 \geq 0, \text{ よって}$$

$$a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a} \geq -\frac{b^2 - 4ac}{4a}.$$

仮定 $a > 0$ かつ $b^2 - 4ac < 0$ より $\frac{b^2 - 4ac}{4a} < 0$, よって $-\frac{b^2 - 4ac}{4a} > 0$ なので,

$$a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2 - 4ac}{4a} > 0.$$

故に, 任意の実数 x について $ax^2 + bx + c > 0$.

(証明終了)

不等式 $A \geq B$ を証明したとき，等号が成り立つ（つまり $A = B$ となる）条件を調べることがある．

例 任意の実数 y について $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ であることを示し, 等号が成り立つ (つまり $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$ となる) 条件を調べる.

例 任意の実数 y について $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ であることを示し, 等号が成り立つ (つまり $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$ となる) 条件を調べる. 不等式 $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ を導くために不等式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$ を導く;

例 任意の実数 y について $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ であることを示し, 等号が成り立つ (つまり $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$ となる) 条件を調べる. 不等式 $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ を導くために不等式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$ を導く; そのために左辺の 2 次式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$ を平方完成する.

例 任意の実数 y について $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ であることを示し，等号が成り立つ（つまり $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$ となる）条件を調べる．不等式 $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ を導くために不等式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$ を平方完成する．

$$3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) = 3y^2 - 12y + 12 = 3(y^2 - 4y) + 12$$

この式から始めること．

例 任意の実数 y について $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ であることを示し、等号が成り立つ（つまり $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$ となる）条件を調べる．不等式 $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ を導くために不等式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$ を平方完成する．

$$\begin{aligned} 3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) &= 3y^2 - 12y + 12 = 3(y^2 - 4y) + 12 \\ &= 3(y^2 - 4y + 2^2 - 4) + 12 = 3(y - 2)^2 - 12 + 12 \\ &= 3(y - 2)^2 . \end{aligned}$$

例 任意の実数 y について $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ であることを示し、等号が成り立つ（つまり $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$ となる）条件を調べる．不等式 $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ を導くために不等式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$ を平方完成する．

$$\begin{aligned} 3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) &= 3y^2 - 12y + 12 = 3(y^2 - 4y) + 12 \\ &= 3(y^2 - 4y + 2^2 - 4) + 12 = 3(y - 2)^2 - 12 + 12 \\ &= 3(y - 2)^2 . \end{aligned}$$

任意の実数 y について、 $3(y - 2)^2 \geq 0$ なので

$$3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0 ,$$

よって $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$.

例 任意の実数 y について $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ であることを示し、等号が成り立つ（つまり $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$ となる）条件を調べる．不等式 $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$ を導くために不等式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0$ を導く；そのために左辺の 2 次式 $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4)$ を平方完成する．

$$\begin{aligned} 3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) &= 3y^2 - 12y + 12 = 3(y^2 - 4y) + 12 \\ &= 3(y^2 - 4y + 2^2 - 4) + 12 = 3(y - 2)^2 - 12 + 12 \\ &= 3(y - 2)^2 . \end{aligned}$$

任意の実数 y について、 $3(y - 2)^2 \geq 0$ なので

$$3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) \geq 0 ,$$

よって $3y^2 - 7y + 8 \geq 5y - 4$.

等号が成り立つ条件は、 $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$, $3y^2 - 7y + 8 - (5y - 4) = 0$, $3(y - 2)^2 = 0$, $y - 2 = 0$, $y = 2$. 故に $y = 2$ のときに限り $3y^2 - 7y + 8 = 5y - 4$.

終

問6.2.2 任意の実数 t について $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$ となることを示し、
 等号が成り立つ条件を調べよ。

$$-\left(\quad \right) =$$

任意の実数 x について, $\quad \geq 0$, $\quad \geq 0$ なので,

$$-\left(\quad \right) \geq 0,$$

よって $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$.

等号が成り立つ条件は, $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$, $-\left(\quad \right) = 0$, $\quad = 0$, $\quad = 0$, $t = \quad$. 故に $t = \quad$ のときに限

り $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$.

問6.2.2 任意の実数 t について $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$ となることを示し、等号が成り立つ条件を調べよ。

$$\begin{aligned}\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) &= \frac{1}{4}t^2 + 3t + 9 = \frac{1}{4}(t^2 + 12t + 36) - 9 + 9 \\ &= \frac{1}{4}(t + 6)^2 .\end{aligned}$$

任意の実数 x について、 $(t + 6)^2 \geq 0$, $\frac{1}{4}(t + 6)^2 \geq 0$ なので、

$$\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) \geq 0 ,$$

よって $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$.

等号が成り立つ条件は、 $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$, $-$ () = 0 , $= 0$, $= 0$, $t =$. 故に $t =$ のときに限

り $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$.

問6.2.2 任意の実数 t について $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$ となることを示し、等号が成り立つ条件を調べよ。

$$\begin{aligned}\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) &= \frac{1}{4}t^2 + 3t + 9 = \frac{1}{4}(t^2 + 12t + 36) - 9 + 9 \\ &= \frac{1}{4}(t + 6)^2 .\end{aligned}$$

任意の実数 x について、 $(t + 6)^2 \geq 0$, $\frac{1}{4}(t + 6)^2 \geq 0$ なので、

$$\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) \geq 0 ,$$

よって $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 \geq \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$.

等号が成り立つ条件は、 $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$, $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 - \left(\frac{1}{2}t^2 - 2t - 7\right) = 0$, $\frac{1}{4}(t + 6)^2 = 0$, $t + 6 = 0$, $t = -6$. 故に $t = -6$ のときに限り $\frac{3}{4}t^2 + t + 2 = \frac{1}{2}t^2 - 2t - 7$.

終

例 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い.

例 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い．“任意の実数 x について $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数 x について $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い”．

例 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い。“任意の実数 x について $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数 x について $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い”。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 5 - 7x &= 3\left(x^2 - \frac{7}{3}x\right) + 5 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{7}{6}x + \left(\frac{7}{6}\right)^2\right\} - \frac{49}{12} + 5 \\ &= 3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} . \end{aligned}$$

例 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い。“任意の実数 x について $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数 x について $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い”。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 5 - 7x &= 3\left(x^2 - \frac{7}{3}x\right) + 5 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{7}{6}x + \left(\frac{7}{6}\right)^2\right\} - \frac{49}{12} + 5 \\ &= 3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} . \end{aligned}$$

任意の実数 x について， $\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 \geq 0$ なので， $3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} \geq \frac{11}{12} > 0$ ，
 $3x^2 + 5 - 7x > 0$ ， よって $3x^2 + 5 > 7x$ 。

例 次のことを示せ： $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い。“任意の実数 x について $3x^2 + 5 > 7x$ ” ならば，“任意の実数 x について $3x^2 + 5 \not\leq 7x$ ” なので，“ $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い”。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 5 - 7x &= 3\left(x^2 - \frac{7}{3}x\right) + 5 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{7}{6}x + \left(\frac{7}{6}\right)^2\right\} - \frac{49}{12} + 5 \\ &= 3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12}. \end{aligned}$$

任意の実数 x について、 $\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 \geq 0$ なので、 $3\left(x - \frac{7}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} \geq \frac{11}{12} > 0$ 、 $3x^2 + 5 - 7x > 0$ 、よって $3x^2 + 5 > 7x$ 。故に $3x^2 + 5 \leq 7x$ である実数 x は無い。 **終**

問6.2.3 次のことを示せ： $3x^2 + 4 \leq 5x$ である実数 x は無い。

$$3x^2 + 4 - 5x =$$

任意の実数 x について、 $\left(\quad \right)^2 \geq 0$ なので、 $\quad \geq \quad > 0$,
 > 0 , よって $3x^2 + 4 > 5x$. 故に $3x^2 + 4 \geq 5x$ である実数 x
は無い. 終

問6.2.3 次のことを示せ： $3x^2 + 4 \leq 5x$ である実数 x は無い。

$$\begin{aligned} 3x^2 + 4 - 5x &= 3\left(x^2 - \frac{5}{3}x\right) + 4 = 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}x + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4 \\ &= 3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} . \end{aligned}$$

任意の実数 x について、 $\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$ なので、 $3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{11}{12} \geq \frac{11}{12} > 0$,
 $3x^2 + 4 - 5x > 0$, よって $3x^2 + 4 > 5x$. 故に $3x^2 + 4 \geq 5x$ である実数 x
は無い。 **終**

2 個の変数が現れる不等式を考える.

例 次のことを示す：任意の実数 x と y について $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$.

例 次のことを示す：任意の実数 x と y について $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$.
 $2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$ を x および y について平方完成する.

例 次のことを示す：任意の実数 x と y について $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$.
 $2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$ を x および y について平方完成する.

$$\begin{aligned}2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) &= 2x^2 - 3x + 3y^2 - 5y + 4 \\&= 2\left(x^2 - \frac{3}{2}x\right) + 3\left(y^2 - \frac{5}{3}y\right) + 4 \\&= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{3^2}{4^2}\right\} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4 \\&= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right\} - \frac{9}{8} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4 \\&= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{24} .\end{aligned}$$

例 次のことを示す：任意の実数 x と y について $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$.
 $2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$ を x および y について平方完成する.

$$\begin{aligned}2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) &= 2x^2 - 3x + 3y^2 - 5y + 4 \\&= 2\left(x^2 - \frac{3}{2}x\right) + 3\left(y^2 - \frac{5}{3}y\right) + 4 \\&= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{3^2}{4^2}\right\} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4 \\&= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right\} - \frac{9}{8} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4 \\&= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{24} .\end{aligned}$$

任意の実数 x と y について、 $\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 \geq 0$ かつ $\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$ なので、

$$2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{24} \geq \frac{19}{24} > 0 ,$$

例 次のことを示す：任意の実数 x と y について $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$.
 $2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4)$ を x および y について平方完成する.

$$\begin{aligned}2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) &= 2x^2 - 3x + 3y^2 - 5y + 4 \\&= 2\left(x^2 - \frac{3}{2}x\right) + 3\left(y^2 - \frac{5}{3}y\right) + 4 \\&= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{3^2}{4^2}\right\} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4 \\&= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right\} - \frac{9}{8} + 3\left\{y^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}y + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4 \\&= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{24} .\end{aligned}$$

任意の実数 x と y について、 $\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 \geq 0$ かつ $\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$ なので、

$$2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 + 3\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{19}{24} \geq \frac{19}{24} > 0 ,$$

よって $2x^2 + 3y^2 - (3x + 5y - 4) > 0$ なので、 $2x^2 + 3y^2 > 3x + 5y - 4$. 終

問6.2.4 次のことを示せ：任意の実数 x, y について $3x^2 + 4y^2 > 5x - 3y - 3$.

$$3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) =$$

$$= \left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \left(y + \frac{3}{4}\right)^2 +$$

任意の実数 x, y について, $\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$ かつ $\left(y + \frac{3}{4}\right)^2 \geq 0$ なので,

$$\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + \left(y + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0,$$

よって $3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) > 0$ なので, $3x^2 + 4y^2 > 5x - 3y - 3$.

問6.2.4 次のことを示せ：任意の実数 x, y について $3x^2 + 4y^2 > 5x - 3y - 3$.

$$\begin{aligned} & 3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) = 3x^2 - 5x + 4y^2 + 3y + 3 \\ &= 3\left(x^2 - \frac{5}{3}x\right) + 4\left(y^2 + \frac{3}{4}y\right) + 3 \\ &= 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}x + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{5^2}{6^2}\right\} + 4\left\{y^2 + 2 \cdot \frac{3}{8}y + \left(\frac{3}{8}\right)^2 - \frac{3^2}{8^2}\right\} + 3 \\ &= 3\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{5}{6}x + \left(\frac{5}{6}\right)^2\right\} - \frac{25}{12} + 4\left\{y^2 + 2 \cdot \frac{3}{8}y + \left(\frac{3}{8}\right)^2\right\} - \frac{9}{16} + 3 \\ &= 3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + 4\left(y + \frac{3}{8}\right)^2 + \frac{17}{48} . \end{aligned}$$

任意の実数 x, y について, $\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 \geq 0$ かつ $\left(y + \frac{3}{8}\right)^2 \geq 0$ なので,

$$3\left(x - \frac{5}{6}\right)^2 + 4\left(y + \frac{3}{8}\right)^2 + \frac{17}{48} \geq \frac{17}{48} > 0 ,$$

よって $3x^2 + 4y^2 - (5x - 3y - 3) > 0$ なので, $3x^2 + 4y^2 > 5x - 3y - 3$.

終